

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2014-223514(P2014-223514A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-150839(P2014-150839)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の図柄始動条件が成立することに基づいて取得される図柄変動情報を所定の保留上限数分記憶可能な先入れ先出し式の保留記憶手段と、

所定の変動開始条件が成立した場合に、前記保留記憶手段の待ち行列の先頭の前記図柄変動情報に基づいて図柄を変動表示する図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による図柄変動結果が特定態様となった場合に利益状態を発生させる利益状態発生手段と、

所定の遊技モード切替条件が成立することに基づいて遊技モードを第1遊技モードから第2遊技モードに切り替え可能な遊技モード切替手段と、

前記図柄表示手段による図柄の変動表示に関する予告演出を行う予告演出制御手段とを備えた遊技機において、

前記予告演出制御手段により複数種類の予告演出態様のうちの特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記第1遊技モード中と前記第2遊技モード中とで異ならせたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記図柄変動情報に基づく図柄変動の開始時よりも前の所定のタイミングで、その図柄変動情報に基づいて図柄変動内容を判定する先読み判定手段を備え、

前記予告演出制御手段は、前記先読み判定手段による判定結果に基づいて前記複数種類の予告演出態様の何れかを選択するように構成したこと

を特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記図柄変動結果が前記特定態様となる信頼度とし、

前記第1遊技モード中と前記第2遊技モード中とで前記信頼度を異ならせたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記図柄変動表示で所定事項が出現する信頼度とし、

前記第1遊技モード中と前記第2遊技モード中とで前記所定事項を異ならせた

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、演出性を損なうことのない遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、所定の図柄始動条件が成立することに基づいて取得される図柄変動情報を所定の保留上限数分記憶可能な先入れ先出し式の保留記憶手段 63 と、所定の変動開始条件が成立した場合に、前記保留記憶手段 63 の待ち行列の先頭の前記図柄変動情報に基づいて図柄を変動表示する図柄表示手段 32 と、前記図柄表示手段 32 による図柄変動結果が特定態様となった場合に利益状態を発生させる利益状態発生手段 66 と、所定の遊技モード切替条件が成立することに基づいて遊技モードを第 1 遊技モードから第 2 遊技モードに切り替え可能な遊技モード切替手段 64d と、前記図柄表示手段 32 による図柄の変動表示に関する予告演出を行う予告演出制御手段 75 とを備えた遊技機において、前記予告演出制御手段 75 により複数種類の予告演出態様のうちの特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記第 1 遊技モード中と前記第 2 遊技モード中とで異ならせたものである。

また、前記図柄変動情報に基づく図柄変動の開始時よりも前の所定のタイミングで、その図柄変動情報に基づいて図柄変動内容を判定する先読み判定手段 68 を備え、前記予告演出制御手段 75 は、前記先読み判定手段 68 による判定結果に基づいて前記複数種類の予告演出態様の何れかを選択するように構成してもよい。

また、前記特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記図柄変動結果が前記特定態様となる信頼度とし、前記第 1 遊技モード中と前記第 2 遊技モード中とで前記信頼度を異ならせててもよい。

また、前記特定予告演出態様が出現した場合の予告内容を、前記図柄変動表示で所定事項が出現する信頼度とし、前記第 1 遊技モード中と前記第 2 遊技モード中とで前記所定事項を異ならせててもよい。

また、所定の図柄始動条件が成立することに基づいて取得される図柄変動情報を所定の保留上限数分記憶可能な先入れ先出し式の保留記憶手段 63 と、所定の変動開始条件が成立した場合に、前記保留記憶手段 63 の待ち行列の先頭の前記図柄変動情報とその時点の遊技モードに対応する判定情報とに応じて図柄変動内容を決定する図柄変動内容決定手段 64 と、前記変動開始条件が成立した場合に、前記図柄変動内容決定手段 64 によって決定された図柄変動内容に基づいて図柄を変動表示する図柄表示手段 32 と、前記図柄表示手段 32 による図柄変動結果に応じて利益状態を発生させる利益状態発生手段 66 と、所定の遊技モード切替条件が成立することに基づいて前記遊技モードを切り替える遊技モード切替手段 64d と、前記図柄変動内容決定手段 64 による前記図柄変動内容の決定よりも前の所定のタイミングで、前記図柄変動情報と前記遊技モードに対応する前記判定情報

とに応じて前記図柄変動内容を判定する先読み判定手段68と、前記先読み判定手段68による判定結果と前記各遊技モードに対応する予告演出選択テーブルとに基づいて予告演出態様を選択する予告演出態様選択手段75dと、前記予告演出態様選択手段75dによって選択された予告演出態様に基づいて予告演出を行う予告演出手段35とを備えた遊技機において、前記先読み判定手段68による判定の対象となった前記図柄変動情報が前記遊技モードの切り替え後に前記図柄表示手段32による図柄変動に供される場合に、少なくともその図柄変動情報が前記保留記憶手段63に記憶されている期間を遊技モード切替期間とし、前記予告演出態様選択手段75dは、前記遊技モード切替期間中、切り替え前後の前記遊技モードの両方に整合する前記予告演出態様の何れかを選択するように構成してもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によれば、演出性を損なうことがない。